

教えて歯医者さん！

前歯がかんでいない(前歯部開咬) I

はは歯クラブ
無料歯みがき指導・相談
11/10・20 (要予約)
問)ゆきなり小児・矯正歯科

指しゃぶりや、舌を噛む癖などの悪い習慣が小学生になってまでも続いた場合、下の写真のように上下の歯をかみ合わせ



ても前歯が接触しない状態、前歯部開咬になります。話

すときも物を飲み込むときも上下の歯の間に舌を挟みこむようになります。話すときには舌足らずのしゃべり方になりがちです。根気強く舌の位置を覚えさせるようなトレーニングを行うと改善されますが、唇を閉じているときには確認しづらく難しいものがあります。

そこで悪い癖(舌を出す癖)をやめさせる装置(タングクリブ、右下の写真)を小学校低学年までに装着すると自然に前歯でかめるようになります。

タングクリブは単に悪習癖を取り除く装置で積極的に歯を動かすわけではありません。自然の治癒力を利用しますので、適切な時期に治療を始めないと顎自体の成長にも問題が起こってきます。年齢が上がると本格的な矯正装置(マルチブラケットシステム)を使って治療する必要があります。



気になる場合は小児歯科専門医、矯正歯科専門医へご相談ください。HPは「ゆきなり小児歯科」で検索すると簡単です。過去の「親子のひろば」もダウンロードのページに掲載しています。

ゆきなり小児・矯正歯科
【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26
TEL:095-857-8211



待合室横の屋外キッズスペース